

弘前大学創立 70 周年 記念事業報告書



令和2年1月

目 次

I 記念事業の実施概要

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 式典等祝賀行事 | ・ ・ ・ p 1 |
| 2. 学生参加事業 | ・ ・ ・ p 2 |
| 3. 弘前大学七十年史 通史・資料編 | ・ ・ ・ p 4 |
| 4. 国際交流事業 | ・ ・ ・ p 4 |
| 5. 記念小公園 | ・ ・ ・ p 5 |
| 6. リレー学術講演会 | ・ ・ ・ p 6 |
| 7. ロゴマーク | ・ ・ ・ p 7 |
| 8. オリジナル記念品 | ・ ・ ・ p 8 |

I 記念事業の実施概要

1. 式典等祝賀行事

令和元年6月1日(土)弘前市民会館において、青森県内各自治体や企業関係者、大学関係者ら約370人が出席し、弘前大学創立70周年記念式典を挙行了しました。

式典は、弘前大学フィルハーモニー管弦楽団の演奏で華やかに幕を開け、佐藤学長が、「この70年間の最も大きな実績は地域の高等教育の需要に応じてきたことと、数多くの人材をこの地域を中心に輩出してきたこと。地域連携による教育研究の成果を世界レベルにまで高めていくことを目指して努力を続ける」と式辞を述べ、文部科学大臣と青森県知事からの祝辞をいただいた後、創立70周年記念事業後援会会長の遠藤正彦前弘前大学長に感謝状が贈呈されました。式典に引き続き、本庶佑京都大学高等研究院副院長・特別教授による「獲得免疫の驚くべき幸運」と題した記念講演が行われ、会場を満たす約1,100人の聴衆が聞き入りました。そのあと行われた記念祝賀会では、弘前市長、岩手大学長、秋田大学長から祝辞をいただき、弘前大学フィルハーモニー管弦楽団弦楽五重奏団の演奏や弘前大学津軽三味線サークル及び弘大囃子組によるアトラクションが披露され、盛大に節目の年を祝うと共に、弘前大学のさらなる発展を祈念しました。



式辞を述べる佐藤学長



式典のオープニングを飾るフィルハーモニー管弦楽団の演奏



講演する本庶特別教授



弘前大学フィルハーモニー管弦楽団弦楽五重奏団によるオープニング



弘前大学津軽三味線サークル及び弘大囃子組による祝宴

2. 学生参加事業

本学が創立 70 周年であることを広く学内外にお知らせすると共に、弘前大学創立 70 周年記念事業のコンセプトに沿い、学生が参加する事業としてふさわしいイベントを募集しました。学生ならではのユニークな視点からのイベント提案があり、幅広い方向性により本学創立 70 周年であることをアピールすることができました。

また、学内外の方々へ本学学生の多彩な活動を披露することにもつながりました。
＜学生参加事業一覧＞

- ・総合文化祭でのロゴ入りパンフレット・ポスター・チラシ,
記念シャープペンシル制作 (学祭本部実行委員会)
- ・弘前大学創立 70 周年記念コンサート (吹奏楽団)
- ・弘前大学創立 70 周年, 弘前大学津軽三味線サークル創立 15 周年記念公演
(津軽三味線サークル)
- ・料理ロボット研究発表会 (理工学部今西・竹園研究室)
- ・弘前大学 70 周年記念ヘッドマーク (鉄道研究会)
- ・第 50 回弘前大学フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会
(フィルハーモニー管弦楽団)
- ・弘前大学スティールパン部弘前大学創立 70 周年記念コンサート
(スティールパン部)
- ・弘前大学創立 70 周年記念第 46 回定期演奏会兼弘前大学クラシックギタークラブ創部 50 周年記念演奏会 (クラシックギタークラブ)
- ・弘前大学創立 70 周年記念学生美術展 (教育学部美術関係学生有志)



記念シャープペンシル (学祭本部実行委員会)



記念コンサートの模様 (吹奏楽団)



「弘前公演」の模様 (津軽三味線サークル)



卓上型料理ロボット (理工学部今西・竹園研究室)



弘南鉄道弘前線の列車 (鉄道研究会)



第50回定期演奏会ポスター
(フィルハーモニー管弦楽団)



弘前大学スティールパン部

3. 弘前大学七十年史 通史・資料編

弘前大学創立 70 周年記念事業の一環として、『弘前大学七十年史 通史・資料編』を刊行しました。本記念誌は、2009（平成 21）年に刊行された『弘前大学六十年史 通史・資料編』を参考に継承しつつ、その後の 2009～2019 の 10 年間の歩みをまとめたものです。

「弘前大学全体の歩み」と「各部局・附属機関・附属施設の歩み」を通史編で紹介し、資料編に関連資料を掲載しています。



附属図書館に配架された弘前大学七十年史

4. 国際交流事業

8 月 1 日（木）に大学間交流協定校であるボルドー・モンテーニュ大学（フランス）から、エレヌ ヴェラスコ・グラシエ学長を招へいし、弘前大学創立 50 周年記念会館みちのくホールにおいて、「ワインの新しい世界」と題して学術講演会を開催しました。ボルドー・モンテーニュ大学は本学 2 番目の協定校で、フランス唯一の協定校です。平成 6 年 1 月の協定締結以来、研究者交流や学生交流が活発に行われてきました。なお、学術講演会に先立ち、これまでのボルドー・モンテーニュ大学と本学との長年の交流への感謝と敬意を表してヴェラスコ学長に名誉博士の称号が授与されました。



名誉博士を授与されたヴェラスコ学長（中央左）と役員及び部局長



講演するヴェラスコ学長

5. 記念小公園

文京町キャンパス内の外国人教師館（弘大カフェ）周辺エリアを、70周年記念業の一環として小公園整備を実施しました。

〈主な整備内容〉

- ・60周年記念事業で設置された太宰治文学碑に加え、津島修治（太宰治）が旧制弘前高等学校に在学中、寄宿先（藤田邸（現「太宰治まなびの家」））で撮影されたくつろいだ姿をモチーフとした記念碑・像（レリーフ）を建立しました。
- ・小公園へのアプローチとなる県道側にスロープを設置し、キャンパス内外の高低差を緩和。小公園の眺望の広がり演出するとともに、バリアフリー対策を図りました。
- ・テラス・外国人教師館付近を中心に、春以降次々と開花するように様々な樹種（多年草）を植栽、季節ごとに見所のある憩いと安らぎのキャンパスを創出し、地域の方々に親しんでもらえる屋外空間を構築しました。



佐藤敬学長と津島淳氏（太宰治ご親族）※R1.6.1 除幕式



太宰治説明石板



小公園全景



アプローチ用スロープ

6. リレー学術講演会

研究成果を専門外の方々に分かりやすく発信し、学術研究を通じた地域との交流の場として、【弘前大学創立70周年記念リレー学術講演会「過去・現在・未来への創造」】を開催しました。本講演会は、大学と地域、弘前と世界、過去と現在から未来へと紡ぐ意味をこめた全5回で構成するリレー形式での講演会とし、研究成果だけではなく、その研究を志したきっかけや、研究者自身の生き様にせまる内容を提供しました。

〈各回の概要〉

- 第1回 平成31年4月20日(土) タイトル「音楽の魅力」
教育学部 和田美亀雄教授による『トロンボーンソロとアンサンブル』、教育学部 杉原かおり教授による『Letteratura e Musica 文学と音楽』のオープニングコンサート
- 第2回 令和元年5月11日(土) タイトル「宇宙の魅力」
大学院理工学研究科 浅田秀樹教授による、ブラックホールや重力波について
- 第3回 令和元年6月8日(土) タイトル「お墓の魅力」
人文社会科学部 関根達人教授による、日本における墓石文化とそこから見えてくる当時の社会構造について
- 第4回 令和元年7月13日(土) タイトル「微生物の魅力」
農学生命科学部 柏木明子准教授による、様々な微生物の生態や酵母を使用した実験の紹介について
- 第5回 令和元年9月14日(土) タイトル「医学の魅力」
大学院医学研究科 大山力教授による、医学の進歩と弘前大学医学部の研究業績や地域貢献の紹介について



第1回 和田美亀雄教授，杉原かおり教授



第2回 浅田秀樹教授



第3回 関根達人教授



第4回 柏木明子准教授



第5回 大山力教授

7. ロゴマーク

創立70周年の気運を高めるために平成30年5月末から6月にかけて創立70周年記念ロゴマーク総選挙を行い、大学院教育学研究科2年小杉奈央さんの作品が最優秀賞に選ばれました。創立70周年記念ロゴマークは、記念事業ポスターや記念グッズなどに広く使用しました。

【ロゴマーク】



70周年記念ロゴマーク

8. オリジナル記念品

弘前大学創立 70 周年を記念して、以下のようなオリジナル記念品を製作し、記念式典及び祝賀会列席者や高額のご寄附をいただいた方々へのお礼の品としました。

(1) 弘前大学ねぷたうちわ

弘前大学のねぷた絵を 30 年近く手がける聖龍院龍仙先生にお願いし、日本画の上品な色合いで大変精緻に描かれた「弘前大学ねぷたうちわ」を作成しました。さらに、添付の解説文（英文付）と特製の封筒も併せて大変高級感のあるものとなりました。

(2) オリジナルラベルワイン

教育学部学生デザインのオリジナルラベルのワインを有限会社サンマモルワインナリーの製造により作成しました。



弘前大学ねぷたうちわ（封筒・解説文付）



オリジナルラベルワイン